



# ユニファイドスクール ガイドライン

***Creating a Unified Generation: Building Social Inclusion in  
Communities***

**2018年度版**



## はじめに

スペシャルオリンピックス（SO）では、「共生社会」(\*1)の実現に向け、次世代を担うより多くの若者たちが、SO活動へ気軽に参加できるような環境づくりを心掛けています。そのために学校との連携を強化し、生徒・学生のみなさんがSO活動に参加しやすくする仕組みを検討しました。

それが「ユニファイドスポーツ®」(\*2)を軸に学校との連携を強化する「ユニファイドスクール」制度です。SOでは、障害のある人もない人も若いうちから交流を持つことで、自然とお互いに尊重し合える人間性を育むことが可能となり、共生社会の実現を促進するものだと考えています。

ユニファイドスクールを通じて、障害のある人もない人も当たり前のように一緒に暮らせる共生社会の実現を目指しましょう。

※ 1 共生社会とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会のこと。（出典：文部科学省「共生社会の形成に向けて」より）

※ 2 ユニファイドスポーツ®とは、知的障害のある人とない人がチームを作り、共に練習や試合をすることでスポーツを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取組のこと。



# ユニファイドスクールとは？

## 概要

ユニファイドスクールとは、SOが学校（幼稚園から大学まで）（\*1）と連携し、ユニファイドスポーツ®の機会を生徒・学生に提供することで、将来の社会活動を担う生と・学生に障害のある人と触れ合い、スポーツを通じてお互いの理解を深めること、またその結果として、共生社会の実現を促進させることを目的として立ち上げた制度です。

※1 SO国際本部の取り組みとしては、学校のみならず総合型スポーツジムや地域のクラブ団体との連携も含めてユニファイドスクール制度ですが、SO日本においては、とくに学校との連携強化に注力しております。





# ユニファイドスクールのヴィジョン・目的

- ・ スポーツを通じて共生社会の実現を目指すこと。
- ・ 共生社会の実現に必要な地域の基盤を整えること。
- ・ 知的障害のある人の社会的孤立やいじめなどの精神的な不安を取り除くこと。
- ・ 知的障害のある人が同世代の友だちをもつことで、メンタリティーをよりポジティブなものへ成長させ、彼らの社会的自立を促進すること。
- ・ あらゆる生徒・学生の身体的健康や精神的発育を支援・強化すること。
- ・ わが国の将来を担う若者に知的障害のある人と接する機会を増やし、知的障害のある人への理解がある人物を社会へ送り出すこと。
- ・ 高校・大学・社会と所属が変わってもSO活動ができる機会を設けるようにすること。



# ユニファイドスクールのメリット・効果

## 1. 学校にとってのメリット

学校として社会貢献活動に取り組むことで、**生徒・学生への教育と成長の機会**を提供することができる。

### 生徒・学生への効果

**パートナーシップを育む**：アスリートとパートナーがお互いに理解しあえる人間関係を築く。

**活動の主体となる**：組織・団体が目指す目標を一人ひとりの課題として意識し主体となって活動する。

**お互いの活動を認めあ**る：個々人の貢献の大小に拘わらずその価値を認める。

**責任を負う**：自分の行動により生じた結果に責任を負うことで、自立性を養う。

⇒ **生徒・学生一人一人のリーダーシップを育てることで、共生社会を実現するための推進力に繋がる。**

## 2. 地区組織への効果

**安定したプログラムの運営**：学校の施設を使用し、定期的なプログラムの開催に繋げることが出来る。

**新規ボランティア/パートナーの獲得**：学校と連携することで、若い世代の新規ボランティアやパートナーを獲得することが出来る。

**アスリートの増加**：地域の施設・特別支援学校を巻き込むことで新たなアスリートを獲得することが出来る。

⇒ **地区におけるSO活動のさらなる活性化や、地域におけるSOの認知度向上に繋がる。**





# ユニファイドスクールのモデル

## 「ユニファイドスクール対象校」

幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校、専門学校、大学

## 「ユニファイドスクール定義」

学校がユニファイドスポーツ®の機会を年に2回以上生徒・学生に提供していること

## 実践例



Special Olympics  
Unified Schools

ユニファイド  
スポーツ®  
競技性のある  
モデル

ユニファイド  
スポーツ®  
プレーヤー  
デベロップメント  
モデル

ユニファイド  
スポーツ®  
レクリエーション  
モデル

ユニス  
ケネディー  
シュライバーデー

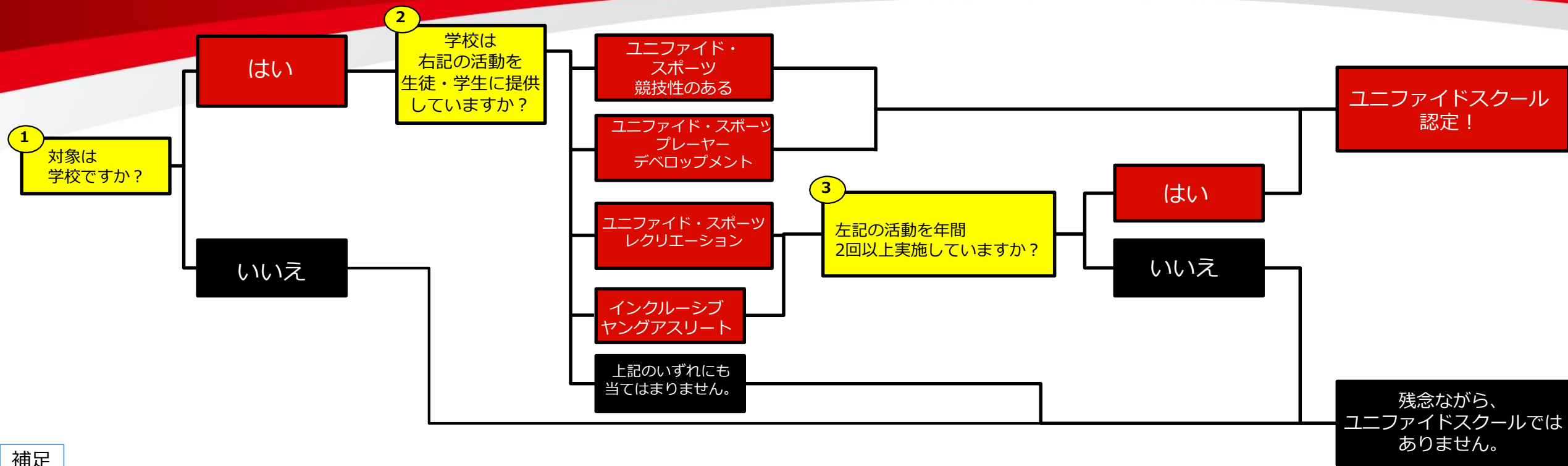
ユニファイドスポーツ  
体験会

インクルーシブ  
ヤング  
アスリート

日常のスポーツプログラムやイベントでのデモンストレーション・体験会などでの実施。



# ユニファイドスクール確認 フローチャート



補足

**インクルーシブ・ヤングアスリート**： 特別支援学校/学級の生徒と普通学校/学級の生徒がともに参加していること。  
**ユニファイド・スポーツレクリエーション**： EKSデーや地区組織主催のユニファイドスポーツ®イベント・体験会などにパートナーとして生徒・学生が参加するなど。

## ユニファイドスクールに当てはまらない学校

- ・ 生徒・学生が学校とは関係なく、**個人**でSO活動に参加している場合⇒主に**クラス/ゼミ**や**部活/サークル**での参加が対象となります。
- ・ 過去にユニファイドスポーツプログラムを実施していたが、現在はその活動をしていない学校
- ・ 学校の施設でユニファイドスポーツプログラムをしているが、施設の使用のみで生徒・学生が参加していない
- ・ 地区のイベント/プログラムに生徒・学生は参加しているが、パートナーではなくボランティア/コーチとして活動している場合



- Q.** 2017年に高校の施設でユニファイドスポーツのプログラムを行い、部活の生徒がパートナーとして参加しました。2018年ではトラディショナルのプログラムを行い、生徒はコーチとして参加しましたが、ユニファイドスクール認定校になりますか？
- A.** 残念ながらユニファイドスクール認定校にはなりません。当該年度に「ユニファイド」のプログラムを2回以上参加している学校が対象となります。
- Q.** ユニファイド・スポーツ® レクリエーションモデルの実施例があれば教えてください。
- A.** レクリエーションモデルの主な目的はみんなでスポーツを楽しむことです。特定の競技・ルール・チーム構成に決まりはありません。バスケットボールやサッカーからダンスまで、身体を動かすアクティビティーであればユニファイド・レクリエーションモデルとなります。
- 例1.** ユニス・ケネディー・シュライバー・デーでのユニファイド・ボーリング大会
- 例2.** ユニファイド・スポーツデーとして学生とアスリートで運動会の実施（綱引き、玉入れ、障害物走、リレー競走等）
- ※ ユニファイド・レクリエーションモデルでは、アスリート・パートナーの年齢・性別・競技能力に差があっても大丈夫です！  
ただし、いずれかの参加割合が最小でも25%であること。（SOスポーツルール総則14.1.4.2-ユニファイドレクリエーション-を参照）
- Q.** ユニファイドスクールの取り組みとして理事長やドリームサポーターに講演を依頼することは出来ますか？
- A.** 原則としてお受けすることは出来ません。
- Q.** 「1年間に2回以上」とありますが時期はいつからいつまでですか？
- A.** 1月から12月までの期間を1年間とします。

<お問合せ先>

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 業務推進部 担当：幡谷  
TEL：03-6809-2034 メール：son\_program@son.or.jp